

“元気度日本一 栃木県”へ

初心

2011年新春号

平成23年1月発行
年2回刊
題字／福田富一 書

〈発行所〉

福田富一
暮らしと政治研究所

〒320-0026
宇都宮市馬場通り2丁目1番12号
TEL 028 (633) 1111
<http://www.tomikazu.com>

「新とちぎ元気プラン」スタート

栃木県知事 福田富一

―男体山に手を合わせて―

卯の年の新春をお祝い申し上げます。知事として7年目の新年を迎えることができ、皆様に心より感謝申し上げます。

男体山に手を合わせて、本年も県民の皆さまと手を携え、元気で活力あるとちぎの実現に向け、最大限の努力を傾注して参る決意を致しました。

本年も宜しくお願い致します。
―昨年を振り返って―

厳しい経済環境の中、様々な県政の課題に取り組んだ1年でありました。公約でありました子ども医療費は、小学3年生から6年生へと助成を拡大し、昨年1月に運行開始となったドクターヘリは、年末までに342回出動し県民の救え



る命を救うことに貢献しました。出動要請の重複への対応のため、茨城・群馬両県との広域連携の協議を進めており、4月以降の早期に開始を目指しております。さらに、昨年11月には、結城紬のユネスコ無形文化遺産決定がありました。高度な職人の技術が高く評価されたのであります。これを契機に、400年余の長い伝統を有する結城紬の知名度が、国内外で更に高まり、産地の活性化にも大きな弾みになるものと期待しております。

―全国駅伝大会で初優勝―

1月23日(日)広島県で開催された、第16回都道府県対抗駅伝大会(男子)で、栃木チームが見事初優勝を飾りました。中

学・高校・大学・社会人と

層の厚さで、前評判通り堂々の走りを見せてくれました。新春から県民に対し、勇気と感動を与えてくれた選手や監督など関係者の皆様に心から御礼申し上げます。

―新年に当たっての抱負について―

新年度から新たな総合計画「新とちぎ元気プラン」がスタート致します。

目指すべき将来像として「安心」「成長」「環境」

をともにつくる元気度日本一 栃木県を掲げました。

そして、すべての活動の原動力である「人づくり」を政策の基本に据え、「暮

しを支える安心戦略」「明日を拓く成長戦略」「未来につなぐ環境戦略」の3つの重点戦略を掲げ、これらを「とちぎづくり戦略」として位置づけました。そして、豊かな人間性を育む教育、健康づくりの推進や安心な医療の確保、成長性の高い産業の振興、豊かな自然環境の保全などの取り組みを進め、人の元

―アンテナショップ―

来春完成するスカイツリーに合わせて、その4階に市町と県との合同でアンテナショップを開設します。食を中心とした、各市町自慢の特産品や新商品などを豊富に取り揃え、とちぎの魅力丸ごと感じてもらう予定です。創意工夫を凝らしたイベント等も開催し、本県の知名度向上にもつなげるとともに、豊かな自然や歴史遺産、多彩な食

や温泉など、観光情報も効果的発信に努め、誘客を促進して参ります。

―北関東自動車道開通―

3月19日にいよいよ全線開通の運びとなり、群馬から栃木、そして茨城に至る150kmが結ばれることとなります。

世界的な観光地の日光や那須

だけではなく、県内全域に多くの方々にご来県いただけるよう、県内外への情報発信を積極的に行って参ります。

―スポレク「エコとちぎ」2011―

11月5日から8日の4日間、県内21市町を会場に生涯スポーツの全国的な祭典である、第24回全国スポーツ・レクリエーション祭を開催致します。4日間で16万人を超える来場者を見込んでおります。祭典のマスケットであります「とちまるくん」ともどもお待ちしております。



―むすびに―

皆様一人ひとりに、心に抱くふるさとの風景があると思います。これを100年後も継承するため、「とちぎのふるさと田園風景百選」を過日認定致しました。

これをきっかけに、自分達の地域の素晴らしさを再認識することで、深い愛着を育みそれが地域の活性化へとつながって行くことを期待しております。

むすびに、平成23年が皆様にとりまして健やかで幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新年の挨拶と日頃の御礼に致します。

福田県政の評価平均84点

知事2期2年目の折り返しを迎えて

12月9日で2期目の折り返しを迎えた福田知事は下野新聞社の取材に応じ、2期目2年間の県政運営や任期後半の抱負を語った。「『とちぎ未来開拓プログラム』の策定で、財政健全化に確かな道筋をつけることができた。当面は大枠の見直しはしない」とプログラムの堅持を強調。マニフェスト(公約集)は3項目を残して新規の9割以上に着手できたとし、東京スカイツリー周辺に設置

するアンテナショップについて「政治生命を懸けてでも成功させることが私の責務」と強い意欲を示した。下野新聞社と共同通信社が協力して行った首長アンケートで、県内市町長の2期目の福田知事への評価は、100点満点で平均84・6点。「好意的に受け止められたのはうれしい。期待に十分応えなければ」と知事。任期残り2年間のキーワードには『有言実行』を挙げた。

スカイツリー併設施設に設置

県のアンテナショップ

県が来春開設を目指している東京スカイツリー(東京都墨田区、634m)への「アンテナショップ」計画が、県内の27市町の協力を得て「オール栃木」態勢で進められるこ

とが決まった。各市町の首長が出席した政策懇談会が8月30日に開かれ、設置費用を県が全額負担し、家賃などの運営費(年約2600万円)のみ県と市町で折半すること

が発信に臨む。

アンテナショップは、福田知事が2期目のマニフェストに掲げた公約の一つで「都内に市町と共同で設置する」と明記。

福田知事は「県と市町の知名度、ブランド力アップと地域食品産業の振興、県内市町への誘客がアンテナショップ設置の目的。栃木の魅力発信に引き続き努力したい」と述べた。

東京スカイツリーの完成予想図



オール栃木で「食」振興

フードバレーとちぎ推進協設立

食を基軸とした産業振興を目指す「フードバレーとちぎ推進協議会」の設立総会が11月19日、宇都宮市内のホテルで開かれ、県は12月1日に総額10億円の新たな制度融資「フードバレーとちぎ推進融資」を創設することを表明。協議会には、県内に本社や製造拠点を置く主要な食品メーカー、農業・商工団体、金融機関、大学、農家など300の企業、団体、個人が参加。

オール栃木体制で食に関する新たな商品開発、販路開拓、農業の高付加価値化、農業資源や水資源を生かした企業誘致に取

り組んでいくことを確認。福田知事は「食に関する産業の連携を積極的に推進し、地域経済が成長発展する活力あふれるフードバレーとちぎを目指す。協議会での活発な交流連携から生まれる新たな事業展開を、県は積極的に支援したい」と挨拶。

IT産業が集約する米シリコンバレーにちなんで命名された、「フードバレーとちぎ」は、県内食品企業集約を図り、産官学金の連携を深めることで、地域活性化を図るというもの。福田知事が昨年初に構想を表明し準備が進められてきた。

かんぴょう産業を支援

とちぎ元気フォーラムin下野

福田知事と県民が県政について意見を交わす「とちぎ元気フォーラムin下野」が12月11日、下野市南河内公民館で、95人が参加して開かれた。知事はフードバレー構想推進について「豊かな水の魅力を生かし産学官連携で積極的に推進し、

県内産のものを利用した新商品を作ってもらい、食を中心とする産業で振興を図りたい」と述べた。下野、壬生、上三川、小山の2市2町を結ぶ県内10番目の食の回廊「歴史とロマンのかんぴょう街道」にも触れ、12年のかんぴょう伝来300年に向け「かんぴょう産業を守ってほしい。県も支援していく」と話した。

とちぎ

「食」の回廊

県が進める「とちぎ食の回廊」で、栃木県の伝統的作物のかんぴょうを核に10番目の街道「歴史とロマンのかんぴょう街道」が11月に誕生し、県内全27市町はいずれかの街道で網羅され、県全体の活性化が期待される。

街道は次の通り

- ① 那須高原ミルク街道
- ② たかはら山麓水街道
- ③ 餃子の街宇都宮
- ④ 那珂川あゆ街道
- ⑤ 八溝そば街道
- ⑥ いい芳賀いちご夢街道
- ⑦ 日光例幣使そば街道
- ⑧ 足利佐野めんめん街道
- ⑨ とちぎ渡良瀬いちご・フルーツ街道
- ⑩ 歴史とロマンのかんぴょう街道



誇れるとちぎの魅力情報発信

このページは、下野新聞、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、東京新聞、日本経済新聞、の記事を抜粋させていただきました。

3月19日 全線開通

北関東自動車道

ネクスコ東日本は11月25日、北関東自動車道の全線開通の時期を約1カ月前倒しして、3月19日に開通するとの見通しを発表した。開通が決まったのは、太田桐生インターチェンジ（IC）―佐野田沼IC間の18・6キロ。

福田知事は「ネクスコ東日本に年度内の開通をお願いしていたので大変うれしい。北関東3県の交流の活発化に加え、既存の縦の高速道路との接続で、福島、新潟を合わせた5県がループ状に結ばれ、多くの交流人口が見込まれる」と期待を込めた。

県とネクスコ 包括的協定

県とネクスコ東日本は、観光や産業の振興、災害時協力など幅広い分野で連携する『包括的提携協定』を結んだ。

県とネクスコ東日本は、観光や産業の振興、災害時協力など幅広い分野で連携する『包括的提携協定』を結んだ。



12月15日に県庁で開かれた協定締結式で、福田知事は「ネクスコ東日本の県内外への情報発信力は高い。北関東全線開通を機に、連携した取り組みを実施し、交流拡大につなげたい」とあいさつした。包括的提携協定に署名した福田知事（左）とネクスコ東日本の佐藤社長

観光振興へ協力合意

5県知事会議

栃木、茨城、群馬、新潟、福島の各県の知事に「北関東磐城5県知事会議」が7月30日、福島県北塩原村で開かれ、北関東自動車道が2011年春に全線開通し、5県は東北、常磐、関越、磐城を含めた5つの高速道でループ状に結ばれることから、協力して高速道の利用促進策や観光振興策を実施することで合意した。福田知事は「群馬と栃木は港や飛行場を持っていない。5つの高速道で、5県がよくなるように」と期待を述べた。会議ではこの他、深刻化する野生鳥獣による農作物被害について、広域的被害対策に向け協議す

地デジ移行に伴い要望

全国知事会議

政府主催の全国知事会議が11月22日首相官邸で開かれ、福田知事は地上デジタル放送の難視対策について要望した。地デジ移行に伴う栃木県の新たな難視世帯は、全国最多の約3万世帯。そのうち約2万4千世帯が暫定的な衛星放送の対象で本人の申し込みが必要だが、制度が理解されなかったり、手続きの煩雑さなどから申し込みが低調となっている。知事は「移行まで8カ月。十分な国のフォローアップをお願いしたい」と要請。

1年前イベント開催

スポレクエコとちぎ

今年11月に栃木県で初めて開催される第24回全国スポーツ・レクリエーション祭「スポレクエコとちぎ2011」をPRする「1年前イベント」が昨年11月3日、宇都宮市の県総合運動公園で行われ、親子連れなど約1万7千人が訪れ、25種類のニュースポーツやレクリエーションを楽しんだ。開会式で福田知事は「栃木の県体、高校総体以来の全国規模のイベント。生活の中にスポーツ、レクリエーションを取り入れる機会にしてほしい」と挨拶。大会マスコット「とちまるくん」がとちまるくん体操を来場者と一緒にに行い盛り上げた。



湖面2号橋を訪れ、ハツ場ダム建設予定地を視察する福田知事ら（10月25日）

東奔西走の日々

- ◇7月7日 塩谷町／鹿沼・日光・塩谷地区ブロック別市町村長会議
- ◇7月10日 全国高校野球栃木大会で始球式
- ◇7月10日 元気フォーラムin那須烏山／介護施設整備前倒しも
- ◇7月15日 和歌山県で全国知事会議／「社会保険病院」法案の早期成立を要望
- ◇7月22日 宇都宮市で「ふれあい活動高校生のごあいさつ」／高校生と知事、意見交換
- ◇7月26日 西方町／栃木・両毛地区ブロック別市町村長会議
- ◇8月4日 大田原市／那須・南那須地区ブロック別市町村長会議
- ◇8月26日 カメルーンのエブナ市長とゼンゲ特命全権大使知事表敬／消防車寄贈に感謝
- ◇9月11日 元気フォーラムin小山
- ◇9月18日 日光市で「第4回世界遺産大学」／次世代に受け継ぐキーワードとして「共生」を挙げる
- ◇9月26日 第6回県障害者スポーツ大会／手話を交えながら激励
- ◇10月7日 都内で「県産銘柄牛懇談会」／とちぎ和牛をPR
- ◇10月12日 とちぎテレビで地デジPR
- ◇10月20日 都道府県会館で関東知事会議／交付金算定見直しを
- ◇10月23日 元気フォーラムinさくら／高校跡地利用議論が必要
- ◇11月6日 元気フォーラムin佐野／工業団地分譲を応援
- ◇11月12日 都内で「とちぎ企業誘致セミナー」／首都圏企業に誘致PR
- ◇11月20日 とちぎ元気フォーラムin真岡／「フードバレー」を推進
- ◇12月22日 都内で全国知事会議／総合特区の予算化提言



長い間お世話になりました。

江曾島町の後援会事務所閉所

福田富一知事の後援会事務所の閉所式が9月25日、宇都宮市江曾島町98番地の現地で行われた。



江曾島町の事務所は、福田知事が県会議員に初当選した平成3年に開所、県議2期、市長2期、知事2期目を通じて知事の政治活動を支える拠点の役割を担ってきた。事務所所在地が市の進める新川調整池計画地に含まれることから、市の事業に協力する形で閉所移転が決まった。

当日はどんよりとした寒い日となったが、午前10時から閉所式には関係者200人が参加、神事にのっとり約20年にわたり愛用してきた事務所に別れを告げた。

式終了後には近くの自動車会館に会場を移して『知事と語る会』が開催された。



知事と語る会

福田知事は28年間の議員生活振り返り、議員を志したきっかけや議員を続ける上での苦労話などを交えて語り、「毎日夜遅くまで事務所にこもり一般質問などの書類作りに没頭した。使い勝手が良く、時間の過ぎるのを忘れて仕事に励んだ。地元の皆さまには言葉では言い尽くせないほどお世話になった」と思い出深い事務所の閉所を惜しんだ。



後援会総連合会事務所に一本化

江曾島町の後援会事務所の閉所に伴い、馬場通りの後援会総連合会事務所に機能を一本化しました。

(下の案内図)

契約駐車場もありますので、どうぞ近くにお越しの際にはこれまで同様お気軽にお立ち寄り下さい。



文化講演会

三原じゅん子先生をお迎えして

10月29日、講師に自ら子宮頸がんを克服した、参議院議員の三原じゅん子先生をお迎えして、恒例の文化講演会が宇都宮グランドホテルを会場に開催され、500人余の方々が出席された。

三原先生は『女性の健康について』と題して講演され、



子宮頸がんは、がんの中でも唯一予防ができるがんで、がん検診の必要性やワクチン接種の重要性などをご自身の体験を交えながらお話された。

また、自ら開業されている介護施設を例にあげ、介護従事者の労働に見合った報酬を確保すべきという介護に向けた政策実現についても真剣にお話された。参加者からの質問にも丁寧に答えて下さり「子宮頸がんのことが理解出来た」「三原先生の話し方、知識に感動した」などの声が聞かれ有意義な講演会となった。

もちつき大会

12月5日(日)、28回目となる恒例の「もちつき大会」が今宮公園で開催された。

当日は搗きたての餅、けんちん汁、搾りたての牛乳、綿あめ等を準備し、好天にも恵まれ、11時の開始時刻には、家族づれなど1000名の方

が次から次へと訪ねてこられ餅がつきあがることに長蛇の列ができ、大盛況のにぎわいとなった。

今年は江曾島の事務所が移転したため、準備する場所を

めぐり二転三転したが、安野連合自治会長ご夫妻のご厚意で、屋敷うちをお借りして、前日早朝から地元陽光地区後援会の皆様が準備して下さい、一年の締めくくりとなる行事を無事終了することが出来た。



『福田家の茶の間』

昨年も夫と男体山に登った(写真)。「何歳まで登れるか挑戦しよう」と始めた男体山登山も10年目。8月は都合がつかず、9月はふもとまで行ったが悪天候と寒さのため断念。

10月11日万全の防寒対策をして娘と3人で登った。素晴らしい晴天で6合目から7合目で富士山が良く見えた。快適な気温だったが、膝が痛くなつてしまいいそこからがきつかった。リ



から元旦は、皇居・正殿松の間での「新年祝賀の儀」に参列している。貴重な経験をさせてもらっていると夫に感謝している。特に今年は様々な反省のもと、気持ちも新たに新年を迎えることができた。

知事に就任してから元旦は、皇居・正殿松の間での「新年祝賀の儀」に参列している。貴重な経験をさせてもらっていると夫に感謝している。特に今年は様々な反省のもと、気持ちも新たに新年を迎えることができた。

編集後記

昨年は江曾島町の後援会事務所の移転という大きな出来事があり慌ただしい1年であったが、新事務所にも慣れて通常の業務に戻りつつある。福田知事は任期残り2年間のキーワードに『有言実行』を挙げた。そんな知事をサポートすべく『初心』はこれから

も知事の県政への取組みや日々の出来事などを分り易く纏めて皆様にお届けして参ります。本年も宜しくお願い致します。

◆福田富一後援会総連合会事務所
◆福田富一暮らしと政治研究所
宇都宮市馬場通り2-1-12
電話 028(633)1111
FAX 028(633)1110